

ワークショップ活動を中心とした実践的教育体系構築の試み

背景・目的

昨年度から取り組んできた課題の継続として位置づける。ワークショップ（以下、WS）を行っていくためのプラットフォームが昨年の活動によって形成されている。

本教育研究プログラムのもっとも大きなねらいとして掲げられた目標として、受け身で勉強する姿勢ではなく、学科の運営に積極的に関わることで自ら「学び」の姿勢を養い、リーダーシップを発揮することが挙げられ、1年間の活動を通して着実に定着しつつある。

「建築学生有志団体アマリリス」が学科全学生をリードし、学生を主体とした学科活動の活性化を期待しつつ、学生生活の充実度、満足度を高めることを本取り組みの目的である。今年度は活動の恒常化を目指しつつ、地道にWSを行っていく予定であった。

実施内容

1. 仮設住宅カスタマイズワークショップ

西公園の仮設住宅に住民間交流を促したための「ENTRANCE」を提案し、設置した。

「住民同士が以前から面識がある」ことがこの仮設住宅の大きな特徴の一つである。また、公園のなかに建てられた仮設住宅であるため、住民にとって、うち（自分の家）とそと（まち）との間に、自分の家の玄関と公園の出入り口という二つの玄関を通ることになる。本提案は公園の入り口にメモリアルベンチを設置するこ

とを提案した。自宅の玄関で感じる「ただいま」という安心感を、公園の出入り口にあるベンチにちょっと腰をかけた瞬間に感じてもらい、2、3年後に、この仮設住宅がなくなったときにも住民の住んでいた痕跡を残せるような形で計画した。また、提案に止まらず、実際にボックスがたベンチをつくり、現地に設置した。

2. トークイベント「建築に咲く」

卒業設計日本一の東京巡回展の関連イベントとして、女性建築家と建築を学んでいる女子学生のトークイベントを企画、主催した。建築家篠原聡子氏、永山祐子氏、ライターの田中元子氏をゲストとしてお招きした。「建築、恋、家庭、こだわり」など普段聞けない質問をアマリリスの2、3年生が聞きながら、討論した。

3. イラストレーター講習会

震災で中止となったイラストレーター講習会を夏休み中に開催した。他大学の建築系学生を講師として招き、学生のスキル向上を図った。

結果及び考察

今年度の活動成果として、多岐にわたる内容のWSを実施したこと、また活動が学内から学外へ、仙台から東京へと活動の視野と範囲を広げたことが挙げられる。

普段の問題意識からWS企画に携わったことで、学生目線からの数々のイベントを実施することができた。一方、活動規模、参加者数の拡大に伴い、活動拠点の確保が今後の課題である。



仮設住宅のカスタマイズ



トークイベント（建築に咲く）



イラストレーション講習会